



離れを包む大屋根

1 背景 - 母屋と離れ -

「離れ」とは、敷地内の建物の母屋から離れた場所に存在する建物のことである。仕事場や作業場として使用する他に、多世代で住む様々な使い方があり、母屋と離れの繋がりを考えることで多世代にとってお互いのプライバシーを保ちつつ、丁度良い距離感で生活できる可能性があるのではないか。

2 コンセプト - 離れを屋根で繋ぐ -

家族の空間（母屋）と多世代の居室（離れ）を屋根で繋ぎ、多世代で住むためのプライバシーとパブリックをゆるやかに繋ぐ住宅を提案する。家族の空間とそれぞれの世代の居室が離れることで、廊下や屋根下の空間は多世代が交流できる場所となる。

屋根で繋げる

それぞれの世代（離れ）
寝室、勉強部屋、書斎など

家族の空間（母屋）
リビング、キッチンなど

廊下や屋根下、庭など

3 平面配置 - 母屋と離れを包む -

それぞれの居室とLDKを土間を介して配置する。離れと母屋の接続に土間があることによって多世代の生活が漏れ出ししていく。

それぞれのボリューム

土間を中心に配置する

夫婦、祖父母、子ども、客間、書斎、多世代の生活空間、水周り、リビング、キッチン、ダイニング、土間、眺望、裏口、外収納、趣味をしよう、薪ストーブ、薪ストーブ、土間と繋がる、土間広場、玄関土間、お風呂、脱衣所、トイレ、祖母の部屋、子ども部屋、夫婦の部屋、読書庭、外収納、外収納、外収納、外収納

家族の空間



4 屋根形状 - 光と屋根で包む -

屋根で包みこみ家族として一体感を生みながら、様々な生活行為を受け入れる。居室ごとに屋根の高さを変え、光で屋根下の空間を包む。

朝、夜



5 居室 - 成長と共に変化する -

離れた居室は家族が成長することで使い方が変化していく。子どもが成長し、中学、高校とライフステージが変化しても、居室は柔軟に対応することができる。

仕事、長男、仕事、長女、夫婦、祖母、夫婦、子ども



家庭菜園、眺望、ウッドデッキ、ホームオフィス、リビングダイニング、客間、土間と繋がる、土間広場、玄関土間、お風呂、脱衣所、トイレ、祖母の部屋、子ども部屋、夫婦の部屋、読書庭、外収納、外収納、外収納、外収納、家庭菜園、駐車場、面積表

敷地面積 587.96m²
1階延べ床面積 158m²

それぞれの生活居室は家族の成長と共に使い方が変化していく

外収納は多世代それぞれの外での趣味の収納などに使われる

垂木の影が土間へと落ちる

屋根：ガルバリウム鋼板 t=0.5

小屋組を照らす日光

構造：ヒノキ
柱 105□
梁 w105×h150
垂木 w45×h75
サッシ：ヒノキ 50□

家族の空間が土間へと続く
ウッドデッキ
川への眺望

▼RFL+5100

▼1FL+400

▼GL

外壁：漆喰仕上げ
内壁：漆喰仕上げ
床：スギフローリング t=10
デッキ：スギ板張り t=20

A-A' 断面図 S=1:100